

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200037		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	ガーデンコート千葉さつきが丘(1階)		
所在地	千葉県千葉市花見川区畑町73番		
自己評価作成日	平成30年 12月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai gokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成31年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

朝、昼、夜と食事が全て自家調達です。食事内容の偏りを防止する為、肉料理、魚料理など大まかな献立設定はしてありますが、利用者様と一緒に献立を決めています。また、献立表もできるだけ利用者様に書いて頂くようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「スタッフ・入居者様・入居者様ご家族のみんなで施設を作っていく」をスローガンに掲げ、職員全体で共有しスローガン実現に向け一丸となり取り組んでいます。今年度は食事に関して、これまで採用していた業者から食材が届くシステムから今年度は自家調達方式へ変更したことで、食材の買い物から食事準備、後片付けに至るまで利用者の関りが増え自立支援の充実につながっています。また毎月開催されるケアラーズカフェや近隣デイサービスのサロン活動への参加も継続して取り組み生活の活性化につながっています。今後は外食レクの定例化なども検討する等、生活の中での楽しみがさらに広がることを期待できます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「スタッフ・入居者様・入居者様ご家族のみなどで施設を作っていこう！」をスローガンとし職員自身が楽しめる職場作りをし、お客様により良いサービスを提供できるように日々努めています。	会社の経営理念、社是、心得を毎月の拠点会議前に唱和をして職員の理解を深めています。また、「スタッフ・入居者様・入居者様ご家族のみなどで施設を作っていこう」をスローガンに掲げ、ホーム内に掲示し全体で共有しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お客様と近くの商店街へ買い物に出かけていき、商店街のイベントなどがあれば参加させて頂いています。	近隣の集会場で開催されるケアラーズカフェや近隣デイサービスで開催しているサロン活動に利用者と一緒に参加して多くの方と交流できるように取り組んでいます。また地域のお祭りへの参加や食材等の買い物で地域商店を活用し交流を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の商店街等を利用し、来店、挨拶をさせて頂くことで施設のことを知って頂く様に勤めます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、畑町の地域交流が取れていなかったためさつきが丘の自治会長様からの進めで畑町の民生委員と交流を持たせていただけるようになりました。	会議には地域包括支援センター、民生委員、利用者家族の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。会議では利用者やホームでの取り組みなどの報告のほか、民生委員や地域包括支援センターからも地域情報や研修等の情報を収集し、有意義な会議としています。	今後に向けては普段関りのあるボランティアや地域住民代表者等、会議に参加できるメンバーを増やし、多方面からより多くの情報を収集しサービス向上につなげられることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	畑町の民生委員の方に運営推進会議にご出席頂きこちらの活動等を報告しています。	運営上相談が必要なケースにおいては、市の担当課に連絡を入れ指示を仰いでいます。事業所側からの質問には丁寧に回答を受けることができ、日頃から協力関係を築き運営を進めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	可能な限り、向精神薬を含む薬の服用を減らせるよう努めています。	身体拘束等の適正化のための指針を作成しそのに基づき、身体拘束適正化委員会を2ヶ月に一度の運営推進会議内で実施しています。またホーム内において身体拘束廃止研修を実施し職員の意識を高め不適切な対応を防いでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	どんな行為が虐待にあたるのか、研修を通して全スタッフが共有できるようにしています。今後も意識を維持していく為に研修を行っていきます。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後拠点会議時に研修を行い職員に理解指定いただき活用できるよう努めます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、契約書及び重要事項説明書の内容を管理者が説明しています。ご家族様にご理解されるまで疑問点等はその都度お答えします。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様、ご家族の要望を聞き入れそれをスタッフにも相談し意見の交換を行っています。話し合った内容を現場に反映させてサービス向上につなげています。	家族からの意見や要望については面会時に直接伺うほか、法人全体で年に一度顧客満足度調査を実施しています。家族から表出された意見を踏まえて改善計画書を作成し改善につなげています。利用者からの意見については日常会話から収集しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	お客様アンケートをもとに改善計画・報告書をご家族様に配布し、サービス向上につなげています。	3ヶ月に一度管理者が職員と個人面談を実施し、職員の意向や要望等を確認しています。定期的面談以外にも日常的な声掛けや申し送り時、毎月の拠点会議時において意向や要望等を表出できる場を設けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	3カ月に1回全スタッフに定期面談を実施し、現場での悩み事、改善点を聞き、モチベーションアップに繋がるようサポートしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な社内研修を設けており、それ以外にも社外研修にも参加してもらうよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に他拠点のスタッフが集い、合同で研修を行なって交流の場をもうけています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様の希望を尊重し、お客様が納得し且つ、安全なサービスを提供できるよう努めます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様自身のご希望とご家族のご希望を聞き、お客様にとって最善のサービスを提供できるようご家族との話し合いをもとに考えて生きます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お客様にとって最善のサービスを提供できるようさまざまな方からの意見を参考にしその中で最良の意見を活用しサービス提供できるよう努めます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活において職員と共に料理、洗濯、買い物等を一緒に行うよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にお客様の様子がわかるように写真つきのお便りを毎月送らせて頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お客様の以前お付き合いのあったご友人様がよく来訪してくださったり、ボランティアで演奏をしてくださったりして頂いています。	馴染みの人や場所との関係が途切れないように知人の来訪の受け入れや地域の夏祭りなどでこれまで関わりのあった方々と交流できるように努め、馴染みの人や場所との関係が継続できるように努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関わりを持って頂く為に、フロアでレクリエーションなどを行い皆様が一緒に過ごせるよう工夫しています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した後も何かあった際には気軽に相談にきて頂けるような施設を目指すよう努めます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様のご意向を第一優先に考えこちらでどのように生活を送っていただくかを常に考えています。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、介護サマリーを書面にし、職員に把握してもらう形を作っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の様子や状態などを個人記録に記入し他の職員にも伝えられるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	お客様のご意向やご本人の現状を把握したうえでよりよい生活が送れるよう考えアセスメントを作成しています。	アセスメントで抽出した結果を踏まえ、担当者会議において職員、家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の達成状況は毎月のモニタリングで確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、状態、変化など個人記録に記入し毎日の様子がわかるようにしています。またどの職員が見ても一目でわかる工夫をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その日その時でお客様の招待は変化しますのでその都度合わせた柔軟な対応を心がけています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	お客様のお知り合いで音楽活動をされている方がおり、そのお客様に企画していただきお知り合いからお誘いを頂近所の公民館で音楽鑑賞をするなどしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療はご家族にも情報を提供し納得してもらったうえで往診してもらっています。	提携先の医療機関とは月2回の往診を通じて連携し、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。提携先医療機関とは常時連絡が取れる体制を築き、利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様に変化などが見られた際はその都度担当医に連絡し往診時に診てもらえるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されている病院に定期的に訪問、またご家族から連絡をいただき常に新しい情報を収集し、状態、様子を把握するよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族との話し合いでご家族の要望に沿った支援をこちらが出来る限り行っています。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約の際にホームとして取り組めることを家族に説明し方針を共有しています。ホームで生活を送る中で重度化が見られる際には、主治医、家族と今後の方針について再度検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時は連絡する病院を把握し段取りも章句員全体がわかるようにしています。応急処置等は今後定期的に講習会を開き、高い意識を持ってもらうように努めます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行っていますが今後も実践的な講習を行いスタッフに高い意識をもってもらうよう努めます。	日中や夜間を想定した訓練を消防署の指導の下、年2回定期的実施しています。水害のリスクについてもハザードマップにおいて確認しています。また災害備蓄品についても整備され、水や食料等必要数確保し「備品リスト兼管理表」において備蓄状況を確認しています。	

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員には意識を持って業務に当たってもらっていますが、今後も職員に声をかけ意識付けに努めます。	ホーム内の研修において「認知症の理解」や「接遇マナー研修」を実施し利用者への言動や対応等について振り返る機会を設け不適切なケアの発生を防いでいます。また居室入室時にはひと声かけるほかトイレ誘導時の声かけも他者に配慮して声をかけることを徹底しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様に必ず意思の確認をし、納得して頂いたうえで対応させて頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の意向を第一優先に考え、お客様のペースに合わせた生活を送っていただくよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	3か月に1回訪問理容に来ていただき、いきつけのお店がある方は日程を組みそのお店に行っていただくような対応をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立を利用者様と一緒に考え、可能な範囲で味見、盛り付け、配膳など食事全般に関わって頂いています。	業者から食材が届くシステムから今年度は自家調達方式とし、食材の買い物から食事準備後片付けに至るまで利用者の関りが増えています。食事を楽しむ取り組みではファミリーレストランへの外食やコーヒーショップの活用、ホーム内での手作りおやつ等を通じて楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録に残し、変化があるようであれば提携医療に報告し指示をもらっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケア研修を取り入れ、声かけ方法、やり方等を学べるよう努めています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄をして頂くよう心掛けています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方は食事内容を工夫したり、個々の利用者様に合わせて体を動かして頂けるようなレクを行なっています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	お客様によっては職員が入浴日を決めている方もいます。出来る限りはお客様のご意向に沿った入浴を心掛けます。	利用者の体調を考慮し週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制としています。また、各種入浴剤なども使用し、入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様のタイミングでお休みになっていただくようにはしていますが、昼夜逆転の恐れもあるのでそうならないよう適度な声掛けはしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬は職員にもわかるようお客様の処方箋をファイルにまとめ職員全員が観覧できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様の楽しみを尊重し、役割を持って頂きお手伝いをして頂いたり、買い物、音楽の鑑賞会、外食会などを行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に外食会を行っています。地域の運動会や小学校の行事にも参加させて頂いています。	天候や気候の良い時期にはホーム周辺の散歩にお連れするほか、定期的にケアラズカフェやデイサービスでのサロン活動へ出かけたり、食材の買い物への同行、地域のお祭りへの参加、外出行事として水族館までの外出を企画する等、戸外活動の充実に向け前向きに取り組んでいます。	

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお小遣いをお預かりしており、お客様が欲しいものがあつた際にはお客様をお連れしてお買い物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お客様から要望があればお電話やお手紙を書いて頂いたりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアの施錠は日中は開放しお客様が自由に行き来できるようにしています。また、フロアやエントランスには季節感を出す為に季節に合わせた装飾を行っています。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	職員同伴ではありますが、広いベランダがあり自由に行き来して頂いたり、時にはフロアにてお客様同士がお話をする様子もみられます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内にはご本人が過ごしやすいようご家族様と話し合い、なるべく馴染みのあるものを搬入したり工夫しています。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのももの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロアの施錠を開放し、時には1F2Fのお客様が触れ合える機会を作っています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200037		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	ガーデンコート千葉さつきが丘(2階)		
所在地	千葉県千葉市花見川区畑町73番		
自己評価作成日	平成30年 12月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai gokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成31年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

朝、昼、夜と食事が全て自家調達です。食事内容の偏りを防止する為、肉料理、魚料理など大まかな献立設定はしてありますが、利用者様と一緒に献立を決めています。また、献立表もできるだけ利用者様に書いて頂くようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「スタッフ・入居者様・入居者様ご家族のみんなで施設を作っていこう」をスローガンに掲げ、職員全体で共有しスローガン実現に向け一丸となり取り組んでいます。今年度は食事に関して、これまで採用していた業者から食材が届くシステムから今年度は自家調達方式へ変更したことで、食材の買い物から食事準備、後片付けに至るまで利用者の関りが増え自立支援の充実につなげています。また毎月開催されるケアラーズカフェや近隣デイサービスのサロン活動への参加も継続して取り組み生活の活性化につなげています。今後は外食レクの定例化なども検討する等、生活の中での楽しみがさらに広がることを期待できます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「スタッフ・入居者様・入居者様ご家族のみなどで施設を作っていこう！」をスローガンとし職員自身が楽しめる職場作りをし、お客様により良いサービスを提供できるように日々努めています。	会社の経営理念、社是、心得を毎月の拠点会議前に唱和をして職員の理解を深めています。また、「スタッフ・入居者様・入居者様ご家族のみなどで施設を作っていこう」をスローガンに掲げ、ホーム内に掲示し全体で共有しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お客様と近くの商店街へ買い物に出かけていき、商店街のイベントなどがあれば参加させて頂いています。	近隣の集会場で開催されるケアラーズカフェや近隣デイサービスで開催しているサロン活動に利用者と一緒に参加して多くの方と交流できるように取り組んでいます。また地域のお祭りへの参加や食材等の買い物で地域商店を活用し交流を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の商店街等を利用し、来店、挨拶をさせて頂くことで施設のことを知って頂く様に勤めます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、畑町の地域交流が取れていなかったためさつきが丘の自治会長様からの進めで畑町の民生委員と交流を持たせていただけるようになりました。	会議には地域包括支援センター、民生委員、利用者家族の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。会議では利用者やホームでの取り組みなどの報告のほか、民生委員や地域包括支援センターからも地域情報や研修等の情報を収集し、有意義な会議としています。	今後に向けては普段関りのあるボランティアや地域住民代表者等、会議に参加できるメンバーを増やし、多方面からより多くの情報を収集しサービス向上につなげられることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	畑町の民生委員の方に運営推進会議にご出席頂きこちらの活動等を報告しています。	運営上相談が必要なケースにおいては、市の担当課に連絡を入れ指示を仰いでいます。事業所側からの質問には丁寧に回答を受けることができ、日頃から協力関係を築き運営を進めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	可能な限り、向精神薬を含む薬の服用を減らせるよう努めています。	身体拘束等の適正化のための指針を作成しそのに基づき、身体拘束適正化委員会を2ヶ月に一度の運営推進会議内で実施しています。またホーム内において身体拘束廃止研修を実施し職員の意識を高め不適切な対応を防いでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	どんな行為が虐待にあたるのか、研修を通して全スタッフが共有できるようにしています。今後も意識を維持していく為に研修を行っていきます。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後拠点会議時に研修を行い職員に理解していただき活用できるよう努めます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、契約書及び重要事項説明書の内容を管理者が説明しています。ご家族様にご理解されるまで疑問点等はその都度お答えします。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様、ご家族の要望を聞き入れそれをスタッフにも相談し意見の交換を行っています。話し合った内容を現場に反映させてサービス向上につなげています。	家族からの意見や要望については面会時に直接伺うほか、法人全体で年に一度顧客満足度調査を実施しています。家族から表出された意見を踏まえて改善計画書を作成し改善につなげています。利用者からの意見については日常会話から収集しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	お客様アンケートをもとに改善計画・報告書をご家族様に配布し、サービス向上につなげています。	3ヶ月に一度管理者が職員と個人面談を実施し、職員の意向や要望等を確認しています。定期的面談以外にも日常的な声掛けや申し送り時、毎月の拠点会議時において意向や要望等を表出できる場を設けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	3カ月に1回全スタッフに定期面談を実施し、現場での悩み事、改善点を聞き、モチベーションアップに繋がるようサポートしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な社内研修を設けており、それ以外にも社外研修にも参加してもらうよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に他拠点のスタッフが集い、合同で研修を行なって交流の場をもうけています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様の希望を尊重し、お客様が納得し且つ、安全なサービスを提供できるよう努めます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様自身のご希望とご家族のご希望を聞き、お客様にとって最善のサービスを提供できるようご家族との話し合いをもとに考えて生きます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お客様にとって最善のサービスを提供できるようさまざまな方からの意見を参考にしその中で最良の意見を活用しサービス提供できるよう努めます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活において職員と共に料理、洗濯、買い物等を一緒に行うよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にお客様の様子がわかるように写真つきのお便りを毎月送らせて頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お客様の以前お付き合いのあったご友人様がよく来訪してくださったり、ボランティアで演奏をしてくださったりして頂いています。	馴染みの人や場所との関係が途切れないように知人の来訪の受け入れや地域の夏祭りなどでこれまで関わりのあった方々と交流できるように努め、馴染みの人や場所との関係が継続できるように努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関わりを持って頂く為に、フロアでレクリエーションなどを行い皆様が一緒に過ごせるよう工夫しています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した後も何かあった際には気軽に相談にきて頂けるような施設を目指すよう努めます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様のご意向を第一優先に考えこちらでどのように生活を送っていただくかを常に考えています。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、介護サマリーを書面にし、職員に把握してもらう形を作っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の様子や状態などを個人記録に記入し他の職員にも伝えられるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	お客様のご意向やご本人の現状を把握したうえでよりよい生活が送れるよう考えアセスメントを作成しています。	アセスメントで抽出した結果を踏まえ、担当者会議において職員、家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の達成状況は毎月のモニタリングで確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、状態、変化など個人記録に記入し毎日の様子がわかるようにしています。またどの職員が見ても一目でわかる工夫をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その日その時でお客様の招待は変化しますのでその都度合わせた柔軟な対応を心がけています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	お客様のお知り合いで音楽活動をされている方がおり、そのお客様に企画していただきお知り合いからお誘いを頂近所の公民館で音楽鑑賞をするなどしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療はご家族にも情報を提供し納得してもらったうえで往診してもらっています。	提携先の医療機関とは月2回の往診を通じて連携し、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。提携先医療機関とは常時連絡が取れる体制を築き、利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様に変化などが見られた際はその都度担当医に連絡し往診時に診てもらえるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されている病院に定期的に訪問、またご家族から連絡をいただき常に新しい情報を収集し、状態、様子を把握するよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族との話し合いでご家族の要望に沿った支援をこちらが出来る限り行っています。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約の際にホームとして取り組めることを家族に説明し方針を共有しています。ホームで生活を送る中で重度化が見られる際には、主治医、家族と今後の方針について再度検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時は連絡する病院を把握し段取りも章句員全体がわかるようにしています。応急処置等は今後定期的に講習会を開き、高い意識を持ってもらうように努めます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行っていますが今後も実践的な講習を行いスタッフに高い意識をもってもらうよう努めます。	日中や夜間を想定した訓練を消防署の指導の下、年2回定期的実施しています。水害のリスクについてもハザードマップにおいて確認しています。また災害備蓄品についても整備され、水や食料等必要数確保し「備品リスト兼管理表」において備蓄状況を確認しています。	

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員には意識を持って業務に当たってもらっていますが、今後も職員に声をかけ意識付けに努めます。	ホーム内の研修において「認知症の理解」や「接遇マナー研修」を実施し利用者への言動や対応等について振り返る機会を設け不適切なケアの発生を防いでいます。また居室入室時にはひと声かけるほかトイレ誘導時の声かけも他者に配慮して声をかけることを徹底しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様に必ず意思の確認をし、納得して頂いたうえで対応させて頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の意向を第一優先に考え、お客様のペースに合わせた生活を送っていただくよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	3か月に1回訪問理容に来ていただき、いきつけのお店がある方は日程を組みそのお店に行っていただくような対応をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立を利用者様と一緒に考え、可能な範囲で味見、盛り付け、配膳など食事全般に関わって頂いています。	業者から食材が届くシステムから今年度は自家調達方式とし、食材の買い物から食事準備後片付けに至るまで利用者の関りが増えています。食事を楽しむ取り組みではファミリーレストランへの外出やコーヒーショップの活用、ホーム内での手作りおやつ等を通じて楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録に残し、変化があるようであれば提携医療に報告し指示をもらっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケア研修を取り入れ、声かけ方法、やり方等を学べるよう努めています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄をして頂くよう心掛けています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方は食事内容を工夫したり、個々の利用者様に合わせて体を動かして頂けるようなレクを行なっています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	お客様によっては職員が入浴日を決めている方もいます。出来る限りはお客様のご意向に沿った入浴を心掛けます。	利用者の体調を考慮し週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制としています。また、各種入浴剤なども使用し、入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様のタイミングでお休みになっていただくようにはしていますが、昼夜逆転の恐れもあるのでそうならないよう適度な声掛けはしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬は職員にもわかるようお客様の処方箋をファイルにまとめ職員全員が観覧できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様の楽しみを尊重し、役割を持って頂きお手伝いをして頂いたり、買い物、音楽の鑑賞会、外食会などを行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に外食会を行っています。地域の運動会や小学校の行事にも参加させて頂いています。	天候や気候の良い時期にはホーム周辺の散歩にお連れするほか、定期的にケアラズカフェやデイサービスでのサロン活動へ出かけた、食材の買い物への同行、地域のお祭りへの参加、外出行事として水族館までの外出を企画する等、戸外活動の充実に向け前向きに取り組んでいます。	

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお小遣いをお預かりしており、お客様が欲しいものがあった際にはお客様をお連れしてお買い物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お客様から要望があればお電話やお手紙を書いて頂いたりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアの施錠は日中は開放しお客様が自由に行き来できるようにしています。また、フロアやエントランスには季節感を出す為に季節に合わせた装飾を行っています。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	職員同伴ではありますが、広いベランダがあり自由に行き来して頂いたり、時にはフロアにてお客様同士がお話をする様子もみられます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご本人が過ごしやすいようご家族様と話し合い、なるべく馴染みのあるものを搬入したり工夫しています。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みものの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロアの施錠を開放し、時には1F2Fのお客様が触れ合える機会を作っています。		